

## iPad (GIGA 端末) 活用実践事例

宇都宮大学共同教育学部附属小学校：指導者：綱川 真人

| 学年 | 教科・領域等 | 単元名・題材名等               |
|----|--------|------------------------|
| 2  | 国語     | 「とっておきのたからもの」をしょうかいしよう |

### 1. iPad 活用のポイント

#### (1) 本時の目標

自分の宝物に対する思いを基に、紹介したい事柄を選ぶことができる。

(思考・判断・表現 話すこと・聞くことア)

#### (2) 活用アプリ

ロイロノート

#### (3) GIGA 端末以外で利用した機器

#### (4) アプリの活用場面と目的

☒ オンライン ☐ オフライン

#### 授業での活用場面 (授業概要)

本単元では、「伝えたいことが伝わるように、話す事柄を選ぶ力」(話す・聞くア)の育成を主に図った授業実践である。「とっておきの宝物を友達へ紹介する」という単元全体の言語活動を設定し、効果的な資質能力の育成を図るため、主に交流の場面での ICT 活用を取り入れた。

### 2. iPad 活用の画面例 (写真等)

#### 活用事例(1)～交流の目的の意識化と共有～

本時では、自分が選んだ宝物の「とっておき」(＝お気に入り、大切にしている、思い出が深い、等)が伝わるように、自己の目的に沿って、集めた事柄の中から紹介したい事柄を選んだり、事柄を想起したりする活動を設定する。その際、個人で取り組むだけでなく、自己の目的に沿って自律的に判断し、友達と交流する環境を設ける。これは、交流を通して、自分の思いがより伝わる事柄を選ぶという、育成を目指す資質能力の効果的な獲得が図れると考えたからである。

そこで大切なのは、「交流の目的の明確化」である。一人一人が目的をもち、自己の判断とタイミングで自由に交流できる環境がないと、交流の質は低下してしまう。そこで、端末に本時の交流の目的を記入し、共有する時間を設けた。視覚的に分かりやすいよう、①黄色(＝事柄をたくさん増やせたから友達と相談して選びたい)②青(＝まだ事柄が決まっていない、増やせていないから友達と話したい)③ピンク(＝自分の中では、事柄が決まったから、これで伝わるかどうか友達に話してみたい／自分で練習してみて友達にアドバイスを聞きたい)の付箋データを用意した。「共有機能」を設け、自由に見合う時間を取ることで、①目的を明確化し、参考にする、②交流相手を判断する手掛かりとすることができるようにする。



#### 活用事例(2)～宝物の写真データ～

①宝物に関する事柄(特徴、思い出など)を想起したり、②交流相手の友達が対象をイメージしたりしやすくするために、端末に記録した実物の写真を提示しながら交流する形態をとる。

特に低学年では、実物を実際に見たり、触ったりすることで、対象の具体を想像しやすくなる。本来なら、全員が宝物を実際に学校へ持参し交流したり、紹介したりするのが理想であるが、対象そのものや学校、学級の実態によっては厳しい場合もある。そんなときに端末への記録、活用が効果的である。実際の写真を見て指を指しながら説明したり、説明を受けて気になったことを具体的に質問したりすることができ、よりよい選材の力が身に付くと考えた。



### 3. 効果と課題

#### (1) iPad (アプリ) を活用して効果的だった点

|      |                          |            |                          |          |                               |
|------|--------------------------|------------|--------------------------|----------|-------------------------------|
| 一斉学習 | ■                        | 教師による教材の提示 |                          |          |                               |
| 個別学習 | ■                        | 個に応じた学習    | <input type="checkbox"/> | 調査活動     | ■ 思考を深める学習                    |
|      | <input type="checkbox"/> | 表現・制作      | <input type="checkbox"/> | 家庭学習     | <input type="checkbox"/>      |
| 協働学習 | ■                        | 発表や話し合い    | <input type="checkbox"/> | 協働での意見整理 | <input type="checkbox"/> 協働制作 |
|      | <input type="checkbox"/> | 学校間の交流     | <input type="checkbox"/> | 家庭学習     | <input type="checkbox"/>      |

(1)個々の交流の目的を瞬時に共有することができたため、実際の交流の時間を増やすことができた。

(2)実際の写真を見ながら交流することで、事柄をより具体的に想起することができた。

#### (2) iPad (アプリ)を活用して課題に感じた点

|      |                          |            |                          |          |                                   |
|------|--------------------------|------------|--------------------------|----------|-----------------------------------|
| 一斉学習 | <input type="checkbox"/> | 教師による教材の提示 |                          |          |                                   |
| 個別学習 | <input type="checkbox"/> | 個に応じた学習    | <input type="checkbox"/> | 調査活動     | <input type="checkbox"/> 思考を深める学習 |
|      | <input type="checkbox"/> | 表現・制作      | <input type="checkbox"/> | 家庭学習     | <input type="checkbox"/>          |
| 協働学習 | <input type="checkbox"/> | 発表や話し合い    | <input type="checkbox"/> | 協働での意見整理 | <input type="checkbox"/> 協働制作     |
|      | <input type="checkbox"/> | 学校間の交流     | <input type="checkbox"/> | 家庭学習     | <input type="checkbox"/>          |

(1)共有している手元の端末を操作する時間も増えてしまった。実際には、黒板の拡大掲示を見て相手を決めている子も多くいた。紙とデータのハイブリットが適切であると感じた。また、交流したい相手を決めても、その相手が他の子と交流していることが多く、希望が思うように叶わなかった子もいた。端末を活用し互いの希望する相手や交流順序等も共有できるシステム作りをするとより効果的であると感じた。

(2)写真を見て、画像をいじったり、逆に本題から逸れてしまったりする子も数名いた。ルールや条件を共有し、より目的意識の醸成を図る必要性を感じた。